

R4年6月6日

庁舎のサツキの花が、初夏の雨に洗われる季節となりました。本日、令和4年第2回山形村議会定例会の開会に当たり一言ごあいさつを申し上げます。

はじめに新型コロナウイルス感染症の状況であります。先月中旬から漸く国県共に感染者数が減少して参りました。

本村でのこれまでの感染者数は、一昨年1月に初めて一例目の陽性患者が確認されてから本日までに総計で320人の陽性患者が確認されております。先月の中旬から、当村の高齢者施設において集団感染が発生したこともあり感染者数が増加して参りましたが、漸くここ数日は感染者ゼロの日が続いております。

村民の皆様には、きめ細かな感染情報の提供と共に、感染された方に対し差別や誹謗中傷を絶対に行わず、地域での思いやりや互いに支え合う助け合いの地域づくりに努めて参ります。

当村のワクチン接種の進捗状況について申し上げます。先月5月末時点で、総人口8,342人中5,490人、65.81%の方が3回目の接種を終了しております。

また、4回目の接種については、60歳以上の高齢者と基礎疾患をお持ちの方を対象に、希望される方が、速やかに接種できる様、接種体制の確保に努めて参ります。

又、昨年5月8日から始まりました当村でのワクチンの接種にご協力を頂いております村内外の医療関係者をはじめスタッフの皆様には、深く感謝を申しあげますと共に、今後とも協力を賜ります様お願いを申し上げます。

次に当村の主力農産物でありますスイカの選果機の更新について申し上げます。

松本市波田地区のスイカ共選所は平成10年に稼働開始し、24年目が経過しております。先週の5月30日、共選所の選果機が更新され竣工式が行われました。

選果機の更新に際し、事業費の10%を関係自治体で負担することし、当村では受益者取扱量24.4%に当たる26,816,000円を昨年度補助金として交付させていただきました。

松本ハイランド管内のスイカの販売額は、昨年度21億5千万円であり、当村でも主要な農産物のひとつであります。更新されましたスイカの選果機が今後も十分活用され松本ハイランドのスイカが今後も当地域の主力農産物として継承されることを期待するところ です。

今回のロシア軍のウクライナへの侵攻に伴う、NATO加盟国などによるロシアへの経済制裁に起因する燃料・農業用肥料の高騰など、当村の農業にとっても、農業経営に大きなマイナス要因であります。当村は比較的恵まれた農業環境にはありますが、遊休荒廃農地・後継者不足など、様々な課題もありませんが、若い世代の農業従事者の創造力と潜在能力に期待し、これから30年・50年先、山形村の農業が持続可能な産業として継承されていることを願うところであります。

次に3月の定例会以降の工事の発注状況につきましては、お手元に配布させていただきました工事の発注状況をご覧いただきたいと思っております。

さて本定例会に提出いたします議案は、報告1件、契約に関わる案件1件、一般会計等の補正予算が6件の合計8件でございます。それぞれの議案につきましては、上程の際、説明を申し上げますが、宜しくご審議を賜りますことをお願い申し上げます。挨拶といたします。